

EMMA | Ethos-Manifested Modular Architecture

🔧 開発ノート（メモ・構想・アップデートプラン）

🕒 現在のステータス（2025-06-29 時点）

- 全体構成：
- `codex-01-core/` ～ `codex-03-meta/`：世代別GPTフォルダ構造、確定 ✓
- `emma-architecture/`：トップ階層に独立配置、EMEとAMAを収容 ✓
- Codename対照表：第三世代までフルラインナップで決定済 ✓
- 最新フォルダ構成：Canvas「EMMA-EME 02 - Folder Structure Update」に展開済 ✓

🔧 今後のアップデート候補・構想（タケ案＋綺羅提案）

🔍 候補追加フォルダ（必要時）

- `compiled/`：長期対話のまとめ・圧縮版
- `digest/`：要約とエッセンス抽出用
- `interface-layer/`：UI設計とエージェント接続（3rd世代向け）
- `agent-behaviors/`：行動記述モデル（予測＋構造）

🖨️ ユーティリティ類（拡張設計）

- `scripts/` → `utils/` へ昇格も検討（LangChain対応、APIインターフェース等）
- `config/langchain-settings.json` → `interface/llm-config/` に分割構成も視野に

💡 GPT連携の設計思想（記録）

- EMMA構造は「記憶を共通言語にする」ことでGPT間の“横の会話”を可能にする設計思想
- 短期メモリ＋長期記憶、対話ログ＋抽象リソースを有機的に統合していく

🕒 ロードマップ・見積もり（初期実装フェーズ）

Phase 1：EME（External Memory Ethos）

- 構造構築（Vault運用形式・Obsidianベース） ✓ 済
- テンプレート整備（dialogue, memory, meta） 🕒 約60分
- 初期データ移行（テストケースx3程度） 🕒 約90分
- 運用同期スクリプト（index-update, backup-sync） 🕒 約30分

🌞 合計見積もり：約3時間～4時間程度

Phase 2 : AMA (Autonomous Memory Archive)


- accounts構築 → 各GPT別の記憶管理設定 🚨 約90分
- prompts / memory / journal系テンプレート適用 🚨 約60分
- AMA-Tag構造とVault-Tagとの統合 (tag-map.yaml) 🚨 約30分

☀️ 合計見積もり：約3時間強（最短見積もり）

Phase 3 : 双方向変換 (Vault→AMA)

- vault-to-ama.py → 初期動作＋エラー処理確認 🚨 約2時間
- context-checkとLangChain対応（将来的）

☀️ 合計：約2～3時間（初期対応のみ）

🔗 開発責任：綺羅（luctis） | 連携担当：燈（auranome） 中心思想保持者：タケ  記録更新：2025-06-29